

# 「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ延長 に向けた方向性

本プランは計画期間(令和2~4年度)初年度からコロナ禍の影響を受けることとなったが、教育活動等様々な面で制約を受けた一方、逆にコロナ禍での運営で得られた経験・知見もあった。

これらを踏まえ、第3ステージにおいて目指したことがコロナ禍においても十分に実践出来るよう、学校マネジメントの方法論(地域協働など)や「芯の通った学校組織を活用して推進する施策」について、コロナ禍での課題や知見を整理・共有の上、プランの計画期間を1年間延長(令和5年度末まで)することとする。

<芯を活用して推進する施策等>

- 地域とともにある学校
- 学校の働き方改革
- 授業改善
- 体力向上、健康課題への対応
- いじめ・不登校
- 教職員の資質向上

- ✓ コロナ禍での課題と工夫例
- ✓ コロナ禍だからこそ実践出来たこと  
進んだこと
- ✓ その他新たな知見、留意点 等

※「令和の日本型学校教育」等 国の教育政策の方向性も勘案

整理

プランの計画期間を1年間延長  
(令和5年度末まで)

「共有知」にして推進

第3ステージにおいて目指したことをコロナ禍においても  
実践・達成